

第11期 (2024年度)

ジャーナリズム公開講座 (全13回)

第6回 8月29日(木) 18:30~20:30

未完の戦争～戦後未補償の現実

戦争は1945年に終わったと一般には思われている。が、終わったのは戦闘であり戦争被害は終わっていない。例えば民間人空襲被害者は「戦後79年」の今も政府の差別に苦しめられている。そうした「未完の戦争」の実態を伝えたい。

毎日新聞東京本社学芸部専門記者

栗原俊雄



【講師略歴】1967年生まれ、東京都出身。早稲田大学政治経済学部卒、同大学院修士課程修了。96年毎日新聞社入社、2003年から学芸部、20年から専門記者（日本近現代史、戦後補償史）。著書『硫黄島に眠る戦没者』、『東京大空襲の戦後史』、『戦後補償裁判』、『「昭和天皇実録」と戦争』など。戦艦大和・シベリア抑留体験者を追う報道で2008年度新聞労連ジャーナリズム大賞疋田賞受賞。一連の著作で2018年第24回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞受賞。関東大震災朝鮮人虐殺事件をめぐる記事で同僚と23年度新聞労連ジャーナリズム大賞特別賞を受賞。

申込方法(要事前申込/先着)

会場開催 もくせい会館第1会議室

定員 70名 静岡市葵区鷹匠3-6-1



左の二次元コードまたは
下記のホームページから
お申込みください。

●申込期限
8月28日(水)17:00

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー



右の二次元コードまたは下記
のホームページからウェビナー
登録をしてください。登録完了
後に接続方法をご案内します。

●申込期限
8月28日(水)17:00

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)